

## 授業計画

科目名	老年看護学概論		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 老年期にある人のその人らしい健康と生活について理解する 2. 高齢者と家族のその人らしい健康・生活を支える保健・医療・福祉の現状及び課題を理解する 3. 高齢社会における老年看護の役割を理解する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	老年期にある人の理解	老いを生きるということ 高齢化の要因と特徴	講義	専任教員*		
第 2 回		高齢者の多様性 (生活史を通じた理解)	講義 演習	専任教員*		
第 3 回		健康指標からみた高齢者の理解	講義	専任教員*		
第 4 回	高齢者の健康と健康の 保持増進のための支援	高齢者にとっての健康 高齢者の健康の目標と健康問題 健康の保持増進のための取り組み	講義 演習	専任教員*		
第 5 回	加齢に伴う変化と生活 への影響の理解	加齢と老化 加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能変化の特徴①	講義	専任教員*		
第 6 回		加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能の変化の特徴②	講義 演習	専任教員*		
第 7 回		加齢に伴う変化と生活への影響① 高齢者の日常生活の疑似体験	校内 実習	専任教員*		
第 8 回		加齢に伴う変化と生活への影響② 高齢者の日常生活の疑似体験	校内 実習	専任教員*		
第 9 回		加齢に伴う変化と生活への影響 高齢者を取り巻く社会環境	演習	専任教員*		
第 10 回		高齢者の生活を取り巻く社会環境	演習	専任教員*		
第 11 回	高齢者と家族の生活を 支えるための支援	高齢者の暮らし 高齢者と家族機能の変化 高齢者の生活を支える施策 多様な生活の場とリロケーション	講義	専任教員*		
第 12 回		高齢者が地域で「暮らす」とは 地域の高齢者・家族の暮らしを支える ための施策、取り組み	講義 演習	専任教員*		
第 13 回	老年看護の基本的な考 え方と倫理的課題	高齢社会の権利擁護と倫理的課題 権利擁護のための制度	講義	専任教員*		
第 14 回		老年看護に関わる理論・概念 老年看護の特徴	講義 演習	専任教員*		
第 15 回	評価	自己学習時間 (1 h) 修了認定試験 (1 h)				
テキスト 参考図書	系統看護学講座 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 (一般財団法人厚生労働統計協会) 参考図書: 高齢社会白書 (内閣府)			評価 方法	筆記 100 点	
備考						

## 授業計画

科目名	高齢者の生活機能を整える看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 加齢変化によって起こりやすい心身の変化を踏まえた生活への影響を理解する。 2. 高齢者の生活機能を整える看護の基本を理解する。					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	高齢者の生活機能 のアセスメント	高齢者の身体的健康のアセスメント 生活の自立状態のアセスメント 心理・社会的健康のアセスメント	講義	専任教員 *		
第 2 回	高齢者の生活機能を 整える看護 コミュニケーション	高齢者のコミュニケーションの特徴 高齢者のコミュニケーションに影響する要因 高齢者とのコミュニケーション方法	講義	専任教員 *		
第 3 回	高齢者の生活機能を 整える看護	高齢者の生活リズムを調整する意義 高齢者に特徴的な生活リズムのアセスメント 生活リズムを整える看護	講義	専任教員 *		
第 4 回		歩行・移動動作のアセスメントと援助 高齢者の転倒・転落の影響、要因とその予防 活動意欲を高める看護	講義	専任教員 *		
第 5 回		高齢者に特徴的な食生活のアセスメント 高齢者の食生活への看護	講義	専任教員 *		
第 6 回		嚥下機能が低下している高齢者の看護 脱水症状のある高齢者の看護	講義 演習	専任教員 *		
第 7 回		高齢者の排泄の特徴と QOL 排泄能力の変化に応じた看護	講義	専任教員 *		
第 8 回		高齢者の皮膚の特徴と清潔に関する健康課題 高齢者の清潔行為、更衣動作のアセスメント 高齢者の清潔に向けた看護	講義	専任教員 *		
第 9 回	臥床傾向にある高 齢者の日常生活機 能を整える看護	Case learning 臥床傾向にある高齢者に起こりやすい変化 と生活への影響 看護介入計画の立案	演習	専任教員 *		
第 10 回		臥床傾向にある高齢者の日常生活を整える 援助①	校内 実習	専任教員 *		
第 11 回		臥床傾向にある高齢者の日常生活を整える 援助②	校内 実習	専任教員 *		
第 12 回		Case learning 臥床傾向にあった高齢者の日常生活動作や 生きる意欲を向上させる看護介入計画の立案	演習	専任教員 *		
第 13 回		臥床傾向にあった高齢者の日常生活動作や 生きる意欲を向上させる援助①	校内 実習	専任教員 *		
第 14 回		臥床傾向にあった高齢者の日常生活動作や 生きる意欲を向上させる援助②	校内 実習	専任教員 *		
第 15 回		評価	自己学習時間 (1 h) 修了認定試験 (1 h)			
テキスト 参考図 書	系統看護学講座 老年看護学 医学書院 老年看護学技術 メディカルフレンド社 ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程第 2 版 医歯薬出版		評価 方法	筆記 100 点		
備考						

## 授業計画

科目名	高齢者の生きるを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 高齢者の健康障害の特徴と看護を理解する 2. 生活の場の特徴をふまえ高齢者とその家族への看護を理解する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>		
第 1 回	高齢者の健康障害の 特徴と看護	老化の要因と原因 老年病と老年症候群 老年病の特徴と看護上の問題	講義	専任教員*		
第 2 回		高齢者に特徴的な症状と看護 うつ状態と生活への影響と看護	講義	専任教員*		
第 3 回		褥瘡予防	講義	外部講師* (認定看護師)		
第 4 回		褥瘡の評価と処置	講義	外部講師* (認定看護師)		
第 5 回 第 6 回 第 7 回	様々な受療状況に応 じた高齢者の看護	入院時、退院時の看護 外来受診時、検査時の看護 加齢に伴う薬物動態と薬力学の変化 高齢者の薬物療法時の特徴 薬物療法を受ける高齢者への援助とリスク マネジメント 手術を受ける高齢者の看護 高齢者リハビリテーションの意義と特徴 インフォームド・コオペレーションに基づく 個別リハビリテーション 健康レベルに応じたりハビリテーション	講義	外部講師* (看護師)		
第 8 回	エンド・オブ・ライ フ・ケア	終末期における高齢者の特徴 高齢者の死にかかわる権利擁護 臨死期のアセスメントと看護	講義	外部講師* (看護師)		
第 9 回	多様な生活の場での 高齢者と家族の看護	災害時における高齢者のリスク 高齢者に多い感染症の特徴	講義	専任教員*		
第 10 回		高齢者の生活の場の特徴と看護	講義	専任教員*		
第 11 回	健康障害が及ぼす高 齢者・家族への影響 と看護	Case learning① 骨粗鬆症・大腿骨頸部骨 折患者の日常生活行動の自立、生活機能の 維持・拡大に向けた援助	講義 演習	専任教員*		
第 12 回		Case learning② 骨粗鬆症・大腿骨頸部骨 折患者の日常生活行動の自立、生活機能の 維持・拡大に向けた援助	講義 演習	専任教員*		
第 13 回		Case learning③ パーキンソン病の高齢者 とその家族の生活を支える援助	講義 演習	専任教員*		
第 14 回		Case learning④ パーキンソン病の高齢者 とその家族の生活を支える援助	講義 演習	専任教員*		
第 15 回	評価	自己学習時間 (1 h) 修了認定試験 (1 h)				
テキスト 参考図書	系統看護学講座 老年看護学 医学書院 ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程第 2 版 医歯薬出版			評価 方法	筆記 100 点	
備考						

## 授業計画

科目名	認知機能が低下した高齢者の暮らすを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 認知機能が低下した高齢者がその人らしく暮らし続けるための支援について理解する					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	認知機能が低下した 高齢者の理解	加齢による認知症の病態と要因 BPSD と生活への影響 軽度認知障害 (MCI)	講義	専任教員 *		
第 2 回		生活の場の移動と看護の継続 退院調整・退院支援	講義	外部講師 * (認定看護師)		
第 3 回	認知機能が低下した 高齢者を取り巻く 環境	認知症看護における倫理的課題 権利擁護 意思決定支援	講義 演習	外部講師 * (認定看護師)		
第 4 回		認知症の人の生活・療養環境づくり 認知症の人にとっての環境の意味 社会参加	講義	外部講師 * (認定看護師)		
第 5 回	認知機能が低下した 高齢者への看護	認知症と社会制度 認知症を取り巻く制度 (変遷含む)	講義 演習	外部講師 * (認定看護師)		
第 6 回		Case learning① 認知症のある高齢者が退院する際の退院調 整・退院支援と安全・安楽に自宅で暮らし ていくための方法を考える	演習	専任教員 *		
第 7 回		Case learning② 認知症のある高齢者が退院する際の退院調 整・退院支援と安全・安楽に自宅で暮らし ていくための方法を考える	演習	専任教員 *		
第 8 回	評価	修了認定試験 (1 h)				
テキスト 参考図書	系統看護学講座 老年看護学 医学書院 ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程第 2 版 医歯薬出版 参考図書：みんないきいき 介護保険 社会保険出版社 参考図書：新版 認知症の人々の看護 医歯薬出版株式会社		評価 方法	筆記 80 点 レポート 20 点		
備考						